

西ノ内和紙で作る！



鯉のぼりワークショップのお知らせ

江戸時代、水戸藩第一の特産物であった西ノ内和紙にアクリル絵の具で鱗や尾の色付、金彩を施してもらうワークショップを開催します！



- 日 時 令和6年4月29日（月・祝）
午前の部 10:00～12:00・午後の部 13:30～15:30
- 場 所 偕楽園公園センター展示室（水戸市見川1-1251）
- 定 員 午前の部・午後の部ともに各20名（グループでの申込みは4名まで）
- 講 師 荒野麟太郎氏（鯉のぼりコレクター）
- 参加費 無料

江戸時代には、水戸藩の専売品として藩の資金調達に役立ち、「大日本史」にも使用された「西ノ内和紙」。強靱で保存性に優れたその性質から、江戸では商人の大福帳としても用いられたと言われています。この伝統ある西ノ内和紙を用いて、オリジナルの鯉のぼりづくりを体験してみませんか？



申込方法： 下記あてメールでお申込みください。

メールで送信する際、題名を「鯉のぼりワークショップ申込」とし、
名前(全員)・年齢・電話番号・描きたい鯉のぼりの色(黒・赤・緑から各組1色)をご記載ください。

※定員になり次第終了。※詳細は参加確定後にご連絡します。

申込み・問合せ： 偕楽園公園センター（水戸市見川1丁目1251）



029-244-5454 kairakuen@pref.ibaraki.lg.jp